

豆の誤嚥

飲み込んだものが気管や気管支に入ってしまうことを誤嚥(ごえん)といいます。

子どもの誤嚥で最も多いのがピーナッツなどの豆類です。これらはその大きさや形から子どもの気管に入りやすく、誤嚥の原因となります。

● どんな症状が出るの？

症状は、咳き込んだり、むせたり、ゼーゼーしたり、呼吸が苦しくなります。ノドに完全に詰まると、窒息死してしまうこともありますので、注意が必要です。



● 治療方法は？

ピーナッツなどの豆類は全身麻酔をして気管支鏡(気管・気管支の内視鏡)で取り出す必要があります。

● 豆の誤嚥は予防が最も大事！

誤嚥は予防が最も大切です。3～4歳までの乳幼児には、日ごろからピーナッツなどの豆類をそのままの形では**絶対**に与えないでください。

手の届くところには置かないよう、日ごろから心がけ、かわいいお子さん、お孫さんを危険から守りましょう。

便の色の異常

先天性胆道閉鎖症は生まれつき肝臓と腸をつなぐ胆管が詰まっていて、胆汁が腸に流れなくなる病気です。生後2か月以内に発見して手術するのがいいとされています。

● うんちの色をチェックしましょう！

先天性胆道閉鎖症は、皮膚や白目が黄色になる「黄疸」が続くかひどくなること、赤ちゃんのうんちが「うすい黄色」「白っぽい色」「クリーム色」「灰白色」になるといった症状が出ます。

1か月健診の頃に赤ちゃんのうんちの色をチェックしましょう。

生後1～2か月でうんちの色が変わることもありますので、2か月くらいは注意が必要です。

心配な場合には、小児科を受診しましょう。